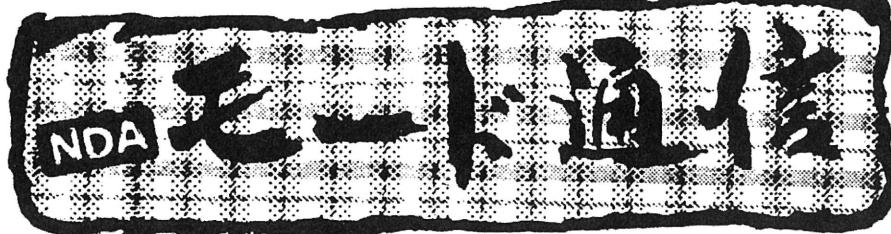


日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会

事務局 〒113-0034

東京都文京区湯島4-8-3-307

TEL (03)3814-7023

FAX (03)3814-7023

発行人 伊賀 玲子

編集人 三鉢イツ子

年3回発行 リビ 裕子



新年のご挨拶

参議院議長
(一社)日本洋装協会
名誉会長 山東 昭子



新年のご挨拶

(一社)日本洋装協会
会長 中田 真理

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、皆様のご支援をいただきまして
第32代参議院議長に就任させていただき
ました。永らく、当協会の参議院議長賞
のお手伝いを協会の顧問として担当させて
いただきましたが、この度私の名前で名
実ともに表彰させていただけることに心
から喜びを感じます。
我が国はこれから少子高齢化の厳しい

時代を迎えます。時代は均一、大量生産
よりも個性を大切にするスタイルに転換
していかねばなりません。洋装協会の先
生方、会員の皆様の洗練された素晴らしい
デザイン、技術が今こそ生きてくれると
信じています。
本年も協会の皆様にとりまして素晴らしい
一年になりますよう祈念し、年頭の
挨拶とさせていただきます。

令和2年1月17日当協会新年祝賀会が
中野サンプラザに於いて開催されました。
関係官庁をはじめ各業界のご来賓14名、
会員42名のご臨席のもと盛大に執り行わ
れました。
名譽会長の山東昭子先生は公務のため
欠席され秘書の勝俣氏から祝辞を頂きました。
今年の功労者、マイスター認定者、検
定合格者の表彰式のあと趣向を凝らし
ビンゴゲームで楽しみました。

今年の次第進行は小幡明子氏と黒沢
旬子氏に、祝宴の司会進行は合田睦子氏
にバトンタッチされました。

明けましておめでとうございます。
昨年中は会員の皆様のご協力を頂き、
事業の運営・活動をつづがなく遂行出来
ましたこと御礼申し上げます。
本年は、いよいよ東京オリンピック・
パラリンピックが開催されます。それに
伴い様々なイベントが計画されており
ます。当協会もファッションショーや作
品展示・販売等で参加する予定です。会
員の皆様にはお手数をおかけいたしま
すが、ご協力の程よろしくお願ひいたし
ます。

昨年は井上栄子さんが全議連マイス
ターに認定され、第30回技能グランプリ
大会では中西真波さんが2位・井上栄子
さんが3位に輝きました。また、技能検
査に認定され、第30回技能グランプリ

大会では中西真波さんが2位・井上栄子
さんが3位に輝きました。また、技能検
査に認定され、第30回技能グランプリ





年頭賀詞さらなる 向上を目指して

顧問 白瀬 一郎

令和二年の新春を迎える会員の皆様は健やかに、楽しい正月を過ごされた事と大慶に存じます。特に三ヶ日は素晴らしい晴天の日和で、今年は良い年である兆しが充分でした。それに引き換え昨年末から中東では重大事が起りこの後は、大禍なく収まる事を念じるばかりです。

衣服に携わる業界にとっては、平和である事が何よりあります。皆様が顧客に供える洋服は、正に社会貢献の一翼となっています。人は装いを求める時、お洒落について推考し受注時から、仕立上りの着装に至るまで、あれこれと想像し楽し

い気持ちを膨らみます。自分だけの洋服、自分で自分のお洒落、その固有感は最大の至福です。良い装いの穏やかで、美的安定は広義には社会秩序の維持に繋がっているのです。会員各々が作る洋服は社会の幸福に寄与している誠に貴い物です。

昨秋の洋装技能コンクールでは素敵なもので優雅でとても見事です。

これからも、研究開発を進めて当協会全体の技能技術が、向上されるよう期待します。頑張りましょう。

全技連マイスター 認定を受けて

井上 栄子(山口県)



この度は、日本洋装協会の推薦を賜り、金技連マイスターの認定を頂き誠に有難うございます。

とは、前会長、会長、諸先生方の御指導のお陰だと感謝しております。

これからも後進の育成、特に若い人達が夢を持てるように指導して行きたいと思います。

更に、持てる技に磨きをかけ、ものづくり日本を引率する役割を果たして地区

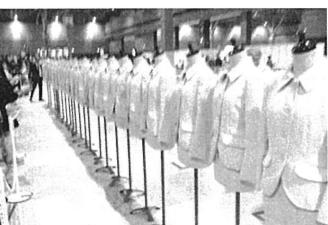
から、一級技能検定合格、全日本洋裁技能コンクール入賞、技能グランプリ参加と、毎年目まぐるしい時間が過ぎ、その都度多くのことを学ばさせて頂きました。

昨年は天皇陛下御在位三十年記念、第30回技能グランプリで銅賞を受けたことを申し上げます。



金賞
銀賞
銅賞
敢闘賞

成績結果は



井出恵理華(熊本県)
田代まだか(宮崎県)
北嶋実咲(岡山県)
伊藤瑠璃(大分県)
高森江梨奈(岡山県)
奥田美加(岩手県)
木内あみ(岡山県)
勝原美結(山形県)
椎菜(山口県)

技能五輪全国大会に
出場して



天皇陛下即位記念
第57回技能五輪全国大会
(あいち大会)

ソーランスタジオ石田 会員 伊藤 瑞璃

補佐委員として 白井富美子

令和元年11月の愛知大会へ参加しました。その前の沖縄大会含め2度目の参加となりました。今回は初参加の選手が少ないこともあり、昨年より、より高い完成度を競う大会となりました。

来年は世界大会も控えていますので、選手育成もふまえて出題内容が変わります。2種類のポケットから、フラップポケットになるか、両玉縁ポケットになるか当日くじ引きで決めました。フラップポケットに決定されました。

練習では出来ていた袖付けが本番では上手くゆかず落ち着いて直さなかつた事が今でも心残りです。

それでも、この2年間で銀賞、銅賞を続けて入賞することが出来、技能五輪への出場を通して私は飛躍的に成長できたことは確信いたします。

大会2ヶ月前に講習会があり、大分に帰つてから勉強に邁進しました。先生は何も言わずに私が疑問に気づくまで観察していましたし答えもしませんでした。

しかし、一つずつ疑問が解決出来るようになると楽しみに繋がり、より実践的なテクニックを身に着けることが出来るよう指導してくれました。応援して下さいました皆様に感謝いたしました。

令和元年11月15～18日まで、8月に完結したばかりの愛知県国際展示場において、技能五輪全国アビリンピックと同時に開催されました。

会場はセントラル国際空港島に隣接し

たアクセスが大変良い、広く明るい会場で行われました。競技委員は事前に会場入りして作業台の準備、ミシン、スタンド、アイロン、ステークの準備をいたしました。

ミシンの調節には特に注意を払い選手たちが日ごろ培った技術が発揮できるよう、この大会に向けて猛特訓した努力が無駄にならぬよう幾重にもチェックをいたしました。42職種、47都道府県から参加しました。

1、2、3、9名が熱い戦いを繰り広げ、洋裁部門では与えられた支給材料により、競技課題のスーツの上着を10時間で制作しました。

24名の選手たちは全員完成に至りました。

時間で制作しました。

1、2、3、9名が熱

い戦いを繰り広げ、

洋裁部門では与え

られた支給材料に

より、競技課題の

スーツの上着を10

時間で制作しました。

1、2、3、9名が熱

い戦いを繰り広げ、

洋裁部門では与え

られた支給材料に

より、競技課題の

会員だより
第4回伊賀玲子洋裁アトリエコレクション

(現代の名工)フォーマルドレスの世界

取材 リビ 裕子

2019年11月26～12月1日まで、当協会の理事長である伊賀玲子の技が輝く、フォーマルドレスの世界～ドレス展が開催されました。

開催地はつくば駅に近い茨城県つくば美術館、広い会場には伊賀先生の全日本洋裁技能コンクール入賞作品の数々や生徒さんの優秀な作品125点余りが展示されており、感動と興奮でドレスの前から動けません、先生独自の表現力に魅了されました。

群馬県桐生市特産の絹織物の「桐生織」を使った赤いドレスは2017年内閣総理大臣賞を受賞いたしました。その他先生の作品にはラティススマッキング、ピントック、ロープ刺繡、リボン刺繡などを施したドレスが目を引きます。

期間中の来場者は2,000人だとお聞きしました。最終日は生徒さんの自作自演のF・シヨーで皆さん緊張することもなく楽しんでいました。次回の開催を楽しみにしております。



会員だより
ワイルド研究所 新年会

水野 智子（神奈川県）

会員だより
染物教室に参加して

東北地区 代表 石井 淳子

会員だより
第39回全国技能士大会

富澤三喜子



内野靖子先生主催ワイルド洋裁教室の新年会が、令和二年一月十日(火)、開催されました。今回は聘珍樓横浜本店にて。

新年会は、他の曜日のクラスの皆様と交流できる場として、毎年楽しみにしています。

例年、検定試験合格者やコンクール入賞者のご報告があり、新年にふさわしい華やかな雰囲気でスタートします。恒例

となつてているのが、着用して来たお気に入り作品を、各自、お披露目すること。ミニファッショショーンショーンながら、内野先生が各作品のポイントを解説して下さるのでですが、それぞれの個性や好みが生かされた作品に、お互い大いに刺激を受けます。そして今年も素敵な作品を作りたいと、気持ちを新たにします。

また、ちょっとした手仕事競争などの余興で楽しませて頂いたり、お開きには集合写真を撮つて頂き、本当に素晴らしい先生やお仲間と一緒にいる感覚の気持ちでいっぱいです。

先生の手助けもありましたが、こんなに楽しく染物体験ができて大満足です、

染粉も簡単に手

を入れる事がで

きますが、時間

をかけて自然に

あふれている植物

や食物を使って

、伝統的な技

法を学ぶのも意味深いものだと

思いました。

小さなTシャツができる達成感でいっぱいになりました。



会員だより
第4回伊賀玲子洋裁アトリエコレクション

(現代の名工)フォーマルドレスの世界

取材 リビ 裕子

九月、東北地区主催の草木染の教室に、朝に道端でつんできた「よいまち草」や桜の枝や葉で染液を作りました。どんな色ができるのかと、わくわくしながら、大きな容器で火にかけました。よいまち草では、グレーの濃淡の液が、桜の枝葉は、きれいなピンク色の液ができました。

Tシャツやマフラーに、ビー玉と輪ゴム、割ばしに輪ゴムを縛り、液の中に手早く入れてかき混ぜ二度、三度と繰り返していくと、みるみるうちに色が鮮やかに染まってきました。

その後、染まった作品を乾燥させて、できあがりました。

先生の手助けもありましたが、こんなに楽しく染物体験ができて大満足です、

草木染を体験していくと、今は人工的な

染粉も簡単に手

を入れる事がで

きますが、時間

をかけて自然に

あふれている植物

や食物を使って

、伝統的な技

法を学ぶのも意味深いものだと

思いました。

仕事に誇り

をもつて励

んでほしい

と話されました。

お二人共、これから世界の動向、日本におけるものづくりの厳しさを指摘されおりました。

大関会長の基調講演の後、特別講演として、外交政策研究所代表の宮家邦彦氏、全技連マイスター認定者は井上栄子氏でした。

当協会からは功労者として白井富美子氏、全技連マイスター認定者は井上栄子氏でした。

表彰された事業所7団体、個人の功労者全国で133名の方々が表彰されました。

会員だより
第39回全国技能士大会

富澤三喜子

会員だより
第4回伊賀玲子洋裁アトリエコレクション

(現代の名工)フォーマルドレスの世界

取材 リビ 裕子

会員だより
第4回伊賀玲子洋裁アトリエコレクション

(現代の名工)フォーマルドレスの

REPORT
N.59

ロンドン（ファッショング・デザイナー） マリー・クワント 日比 和子（東京都）



品川の天王洲B & C・HALLにて令和元年10月19～12月1日まで開催されました。私が見に行つたのは、間もなく展示期間も終わろうとしている冷たい雨の降る日でしたが入場を待つ多くの人達で行列ができていました。順番を待つて中に入ると1階と2階のツーフロアに分かれています。2階はシルバーとゴールドの部屋、1階は黒、赤、ベージュの部屋として構成・展示し

マドモアゼル・ブルヴエ展

佐藤 順子（東京都）

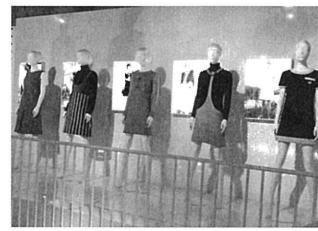
てありました。

作品は伝統的なブラックドレスをはじめ、レースや華やかなシフォンで仕立てた優美なイブニングガウン、またツイードのスースなどシャネルスタイルを見ることができました。

また世界的にも有名な「シャネルNo.5」や1932年に創作されたハイジュエリーコレクション、創造性にあふれた大胆な手法の数々が展示されていて、ガブリエル・シャネルの時代から現在に至るまでのコレクション、卓越した技術を見ての人の心に残ると感じとても自分自身に刺激になつた1日でした。

2019年8月10日ロンドンのビクトリア&アルバートミュージアムを再び訪れた。ファッショング・ギャラリーでは1934年生まれのマリー・クワントのイグジビションが開催されていた。30歳になつたばかりのマリー・クワントはイギリスというより世界中にミニスカート旋風を巻き起こしました、アメリカ及び世紀に、たちまちにして現在の新鮮な若者の姿を作りだしたロンドンの

若き女流デザイナーである。1966年にエリザベス女王からイギリス帝国勲章を授かつたほどである。彼女が成功したのは持ち前の創造力、はつきりした人生観とをかみ合わせて、きたるべき未来の服飾に関する傾向を予測する能力があつたからである。最近では既製の提供をすべきと考え既製服会社を設立した。彼女のブティックはロンドンにおける最初のものであった。小売店、製造会社、パートーンメークー、ランジェリー、ハンドバック、靴化粧品にまで手を伸ばした。ギリスの若い人たちの間で自由をとなえる彼女の服は喜ばれミニスカートの親として名声を確立したのである。



2020初春のセミナーのご案内

II NDAニュース II
<http://nihonyouscolor.jp/>

日時 令和2年2月24日(月祝)
1時～4時半

場所 東京洋服会館
1月7日 ジェントリーホール

婦人服に役立つ毛皮講座
紳士服新年会

会費 会員 4000円
一般 5000円
資料代は当日徴収

申し込み・問い合わせは
教育部 日比迄

03-(5490)0099

詳細は後日お知らせ致します。
4月上旬～中旬

■ 申し込み・問い合わせは

受検者募集案内 検定部
令和二年度前期技能検定願書受付
婦人子供副製造注文服製作一級二級

■ 申し込み受付日
4月上旬～中旬

■ 申し込み・問い合わせは
検定部 白井迄
042-(364)3946

☆各教室、アトリエで纏めて申し込み下さい。用紙をお送りします。

検定部の講習会
検定にも実践にも役立つテーマ

コースI 「毛芯仕立てのテールード
ジャケット」
コースII 「オープンカラーのブラウス」
申し込みの方には後日、日時の御案内をお送りします。

公 03-(3814)7023



新入会員募集中

共に学ぶ友人・知人をご紹介して下さい。詳しいは事務局までお問い合わせ下さい。

令和2年2月24日
初春セミナー
(婦人服に役立つ毛皮講座)
第65回通常総会
東京洋服会館
中野サンプラザ
K.K.R.熱海